



## 会礼の話（6月）

コロナウイルス感染症がだいぶ治まってきたので、今日は全校の皆さんと一緒に会礼です。皆さんの顔を直接見てお話しすることができ、校長先生はとっても嬉しいです。皆さんもしっかりと校長先生の方を見て聴いてくれていますね。ありがとうございます。コロナについてはまだまだ油断ができません。体育の時間や登下校中など、マスクを外した方がいい時と、しっかりと着けなくてはいけない時とを自分で判断し、感染予防をしていきましょう。



さて、今日の朝から、ニコ隊の皆さんによる挨拶運動が始まりましたね。皆さんは大きな声で挨拶ができましたか？皆さんも知っているように、校長先生は毎朝校門のところに立って、皆さんに挨拶をしています。4月の最初のころと比べたら、多くの人たちが挨拶を返してくれるようになりました。でも、今でも、校長先生が「おはよう」と挨拶しても、前を素通りしていく人がいます。挨拶が返ってこないと、ちょっぴりですがさみしい気持ちになります。逆に、校長先生からの挨拶にしっかりと答えてくれたり、先に挨拶をしてくれたりすると、とっても嬉しい気持ちになります。ある2年生の男の子は、体育館の方から登校してくるのですが、いつも校長先生のところまで来て、目を見て、「おはようございます」と、心のこもった挨拶をしてくれます。また、三輪の通学班の皆さんは、いつも職員室の先生方に向かい、窓越しに大きな声で挨拶をしてくれます。そんなときは、とっても嬉しい気持ちになり、「今日も一日頑張ろう」と思えます。きっと他の皆さんも同じように挨拶をしたりされたりして嬉しい気持ちになったことがあると思います。

他の挨拶も同じですね。「こんにちは」「さようなら」「こんばんは」「おやすみなさい」「ありがとう」「ごめんなさい」・・・どの挨拶も、心を込めて言うことでその心が伝わり、相手の心を動かします。心のこもった「おはようございます」からは、「今日も一日頑張ります」という気持ちが伝わりますし、丁寧な「ありがとう」からは、「うれしかったよ」とか、「たすかったよ」といった気持ちが伝わります。そのような気持ちが伝わることで、挨拶を受けた方も、頑張ろうと思ったり、嬉しくなったりします。一言で相手の気持ちを変えることのできる挨拶って素晴らしいと思いませんか？

皆さんの心のこもった挨拶で、この笠原小を今よりもっともっと素晴らしい学校にしていきたいと思います。

これで校長先生のお話を終わります。

